

事業計画書

団 体 名	特定非営利活動法人すこやか地域支援協会	
事 業 名 称	すこやかサポーター啓発	
事業実施期間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 令和8年 4月 1日 ～ 令和9年 3月31日	
1. 事業の目的	長期的な視点(複数年単位)で記入	(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) 現在、要介護・要支援・介護予備軍である団塊の世代が75歳に到達し、フレイル(加齢や疾患によって身体的、精神的な機能が徐々に衰えた方)及び認知症予備軍の人たちが激増してきています。その課題の解消策の一つとして、予備軍の人達を要介護・要支援へ移行しない様にするために活動する「すこやかサポーター」という人材の啓発を行い「フレイル・認知症の予防」を進めていきたいと思います。 「すこやかサポーター」とは、地域での健康促進活動や福祉の支援を行うボランティアのことを指します。啓発活動は、コミュニティの中で健康や福祉に対する意識を高めたり、サポーターの重要性を伝えたりすることを目的としています。
		(2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) 現在日本が直面している超高齢化社会が進んでいる中で、介護業界でも介護認定待ちといった事が多くなり、介護難民が急増しています。これらの現状に対し少しでも要介護・要支援へ移行しない為に何か出来ないかと考えました。
		(3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) フレイルや認知症でお悩みになっている方も多くおられ、厚生労働省でも認知症サポーターの啓発が行われています。認知症やフレイルの知識を知るきっかけ、啓発活動が出来れば、元気で地域社会に貢献でき、老後を楽しめると考えます。
		(4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) 現在「フレイル・認知症」に対しての知識がない方たちに対して、フレイル予防や認知症予防教室を行う事で、住み慣れた地域ですこやかに長く居住することが可能になると思われれます。フレイル予備軍、認知症予備軍の方たちだけでなく、その友人やご家族が参加し、学んでいただき「すこやかサポーター」という役割を持つことで早期の発見が可能になり、状態に応じた対応ができるようになることでそれらの進行を最小限に留めることができるようになると思われれます。
	事業実施期間の視点(単年度)で記入	(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) 認知症やフレイル予防に対しての知識を持ってもらうことで、家族様や近隣住民の方が認知症や介護サービスが必要になった場面でも手助けや予防、どのように対処していったらよいかを学ぶことを目的とします。

	<p>(6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法</p> <p><枚方市民への効果> (誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること)</p> <p>枚方市民を対象に、老若男女どなたでも受けて頂くことで、家族の方、近所の方、友人に、枚方の介護予防政策や認知症、フレイルについて学んでいただき一人でも多くの方に他人ごとではなく身近に存在している事だと認識して頂くことで、助け合いの心が育まれる効果が期待されます。</p> <p>啓発活動を通じて、地域の方々が健康に対する意識を高め、自分自身や周囲の人々の健康を守る手助けとなると思われます。</p> <p><確認方法>(参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること)</p> <p>アンケートを作成し、毎回の講習後に回収して確認方法とします。</p>
--	---

<p>2. 事業内容等</p>	<p>(1) 事業の対象者 (例：枚方市内に住む10代から20代の人 など具体的に) 枚方市に住む、認知症や介護が必要になりそうな方、又はその家族・友人等。年齢は問いませんが、会場へ足を運べる方を対象とします。</p> <p>(2) 事業の実施場所 (移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること) 公共施設を予定 (ラポールひらかた・枚方市総合文化芸術センター・各市民センター等)</p> <p>(3) 事業内容</p> <p>①「認知症」に関する知識の普及・啓発 有識者 (オレンジサポーター等) を講師として招き、講演していただく</p> <p>②「フレイル」についての知識・運動の周知 医療系資格者、機能訓練指導員等による「フレイル」の知識や予防の仕方</p> <p>③脳トレや運動の講演 医療系資格者、機能訓練指導員等による実践指導</p> <p>4カ月に1回、開催1回で上記内容①～③を行い計3回開催予定</p>
<p>3. 実施スケジュール</p>	<p>(事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること) ※添付も可</p> <p>4月 会場手配、チラシ作成、人員手配</p> <p>5月 周知、告知</p> <p>6月 ロールプレイング (4月と7月開催前に事前会議を開催)</p> <p>7月 <u>開催準備第1回開催</u></p> <p>8月 会場手配、チラシ作成、人員手配</p> <p>9月 周知、告知</p> <p>10月 ロールプレイング (8月と11月開催前に事前会議を開催)</p> <p>11月 <u>開催準備第2回開催</u></p> <p>12月 会場手配、チラシ作成、人員手配</p> <p>1月 周知、告知</p>

	<p>2月 ロールプレイング (12月と3月開催前に事前会議を開催)</p> <p>3月 開催準備第3回開催</p> <p>各開催ごとに事前会議を2回ずつ行う</p>
4. 事業実施の体制	<p>(1) 人員体制 (実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること) 各回 講師3名 アシスタント4名程度を予定 ※アシスタントは「NPO 法人すこやか地域支援協会」会員より手配予定</p> <p>(2) 事業対象者の見込み数 (例: 参加者●名など現時点の想定人数を記入すること) ・参加者 各30~50名 (会場規模による) ・事前申し込み 要</p> <p>(3) その他の体制 (寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること) 平成医療学園専門学校、兵庫鍼灸専門学校</p>
5. 自立的・継続的に活動していくための工夫	<p>(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること)</p> <p>イベントやセミナーを開催し、健康管理の知識や介護予防・認知症予防についての情報を共有する活動を行い、「すこやかサポーター」の必要性を伝えます。</p> <p>また、地域イベントに参加し健康相談ブースを設け、地域住民と直接交流することで、すこやかサポーターの役割を広めていくことも行っていきます。</p> <p>このような啓発活動を通じて地域の人々が健康に対する意識を高め、自分自身や周囲の人々の健康を守る手助けとなることが期待されます。</p> <p>今後は枚方市健康づくり課や地域包括センター、民生委員、地域老人会と連携して各地域でのフレイル予防や認知症教室を開催していきたいと考えます。</p>
6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み	<p>■活動実績</p> <p>2015年・枚方市健康づくり課 ご近所介護予防運動教室 枚方市全域</p> <p>2016年・フォーラム開催「100歳まで健康ピンピンコロリ」 ラポールひらかた ・枚方市健康づくり課 ご近所介護予防運動教室 サプリ村野</p> <p>2017年・社会福祉協議会主催「枚方医療福祉フェスティバル」 ラポールひらかた</p> <p>2018年・枚方市健康づくり課 高齢者居場所づくり事業 枚方市長尾台 ・枚方市保健センター主催「いつまでも元気であるための健康エクササイズ」 ・枚方市地域包括支援センター主催「すがわら健康まつり」 菅原生涯学習市民センター</p> <p>2019年・枚方市地域包括支援センター主催「すがわら健康まつり」 菅原生涯学習市民センター ・「ロコモ運動教室」 枚方市御殿山</p>

	<p>2024 年・すこやか地域支援協会主催「いきいき健康フォーラム」ラポールひらかた</p> <p>2025 年・枚方市NPO活動応援基金補助事業にて「すこやかサポーター啓発事業」</p>
7. 事業のPR方法	<p>(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること)</p> <p>チラシ作成・配布、SNS 発信、会員施術所・介護施設・フィットネス事業所と連携しポスター掲示及び声掛け</p>
8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定	<p>助成金等の予定 有り (申請中を含む) ・ 無し (本補助金のみ)</p> <p>助成金等の名称 ()</p> <p>申請中の場合、申請結果が確定する予定日 (令和 年 月 頃の見込み)</p>
9. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など	<p>「すこやか地域支援協会」に登録している会員は、鍼灸師や柔道整復師、介護予防運動指導員など、健康増進の知識に詳しい会員が多いため専門的な指導ができるとともに、普段から施術所にて健康意識の高い患者様と接しているので、その患者様や患者様の友人等へ告知し、その方々に健康の知識をつけていただくことで、より広い市民の健康増進へ寄与することができる。</p>

事業収支予算書

団体名： 特定非営利活動法人すこやか地域支援協会

補助対象事業の名称：	すこやかサポーター啓発
------------	-------------

事業実施期間： 令和8年 4月～ 令和9年 3月

【収入の部】

項 目※1	予算額(円)	内容説明(積算根拠等)
枚方市補助金(一般)(A)	230,962	補助金交付申請額(一般寄附)
枚方市補助金(団体)(B)	120,000	補助金交付申請額(団体希望寄附)
自己資金	76,988	
合 計 (C)	427,950	

【支出の部】

項 目	予算額(円)	内容説明(積算根拠等)
補助対象経費	人件費	240,000 ■事前会議費 (講師3名+アシスタント4名) × (時給2,000円 × 2時間 × 2回) × 3回 = 168,000円 ■開催当日アシスタント費用 アシスタント4名 × (時給2,000円 × 3時間) × 3回開催 = 72,000円
	謝金	90,000 講師3名 × 10,000円 × 3回 = 90,000円
	会場費	16,200 ラポールひらかた研修室 1 13:00~17:00 5,400円 × 3回
	印刷費	60,750 ■開催1回につき(50人参加想定) ・A3ポスター 50円 × 15枚 = 750円 ・A4チラシ 30円 × 500枚 = 15,000円 ・配布資料(1人につきA4 2枚) 30円 × 100枚 = 3,000円 ・アンケート用紙 30円 × 50枚 = 1,500円 合計20,250円 ■上記内容を3回開催 → 20,250円 × 3 = 60,750円
	駐車場代	21,000 ■開催1回につき (講師3名+アシスタント4名) × 駐車場代1,000円 × 3回 = 21,000円
小 計	427,950	
補助対象外経費		
	小 計	0
合 計 (D)	427,950	

- ※1：事業に係る収入はすべて記入してください。
- ※2：収入の合計(C) = 支出の合計(D)となるように記入してください。
- ※3：枚方市補助金(一般)(A)は、補助回数により記入可能な金額が異なります。
(詳細は、募集要項及び別シート「チェックリスト」を参照すること)
- ※4：枚方市補助金(団体)(B)は、個別に通知した団体希望寄附額が上限です。
(通知がなかった、または今年度の申請を希望しない場合は、0円と記入すること)